



免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

決算期変更について

■ 2006年に決算期変更

- 3月20日 → 12月31日
- 2006年12月期は変則の約9ヵ月決算

堀場製作所

堀場アドバンスドテクノ] → 9ヵ月+11日決算

堀場エステック → 9ヵ月決算

その他グループ会社(40社) → 変更なし(12ヵ月決算)

※ 業績比較の際にはご注意ください

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2007年12月期 連結決算概要

中長期経営計画(2年目)が想定を上回るピッチで進捗

P/L

直近業績予想(3Q時点)を上回る水準で着地
自動車、半導体部門が業績を牽引
円安傾向で収益性向上(営業利益+7億円の効果)
営業利益率上昇(10.1%→11.5%)

過去最高の売上高、利益を達成

B/S

事業拡大に伴い総資産増加もROAは改善(8.6%→11.2%)
普通社債100億円発行(有利子負債 前期末162億円→251億円)
事業拡大と同時に資産効率を改善

C/F

利益拡大により営業CF +135億円計上
新基幹情報システム導入など、設備投資93億円計上
営業CFを将来に向けた積極投資に活用

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2007年12月期連結業績

(金額: 億円)

	2006年12月期	2007年12月期	
	実績	実績	増減
売上高	1,160	1,442	+281 (+24.3%)
営業利益	117	165	+48 (+41.2%)
営業利益率	10.1%	11.5%	+1.4P
経常利益	107	159	+51 (+48.1%)
当期純利益	65	86	+21 (+33.5%)
ROE	9.4%	11.4%	+2.0P

Explore the future

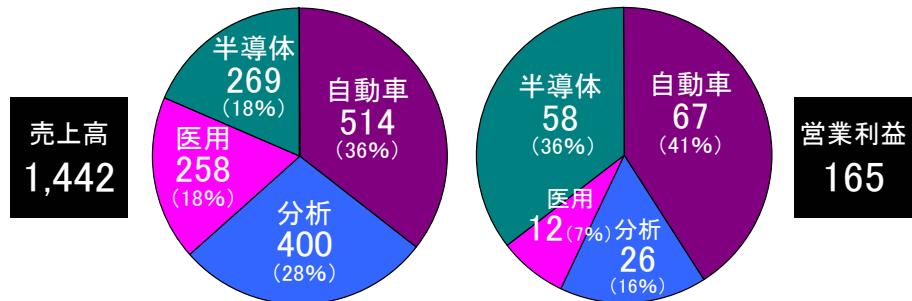
© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

セグメント別業績概要

(金額: 億円)

セグメント別 金額・構成比



対前年比	自動車	売上高 35.7%増	営業利益 83.7%増
	分析	売上高 14.2%増	営業利益 0.1%増
	医用	売上高 12.4%増	営業利益 12.3%減
	半導体	売上高 33.9%増	営業利益 48.4%増

Explore the future

HORIBA

説明内容

- 決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2008年12月期 連結業績計画の主な前提条件

2008年12月期計画

トレンド

売上

→ 営業利益

→

- ① 自動車部門を中心に高水準の受注残高(2007年末時点 391億円)
- DTS事業の損益改善(売上高31億円増加、営業利益ブレークイーブン)
- 環境事業の需要増加
- 中国向け需要増加
- 特別損益の大幅な改善(前期比11億円の改善)

- ② 半導体市場の需要減少(前工程設備投資を前年比▲20%と想定)
 - 半導体部門営業利益▲23億円
 - 為替の円高(ドル118円 → 105円、ユーロ161円 → 155円)
 - 営業利益▲12億円のインパクト
 - 減価償却費負担増加(会計制度変更・ERPシステム稼動)
 - 営業利益▲6億円のインパクト
 - サブプライムローン問題の世界経済への影響を懸念

Explore the future

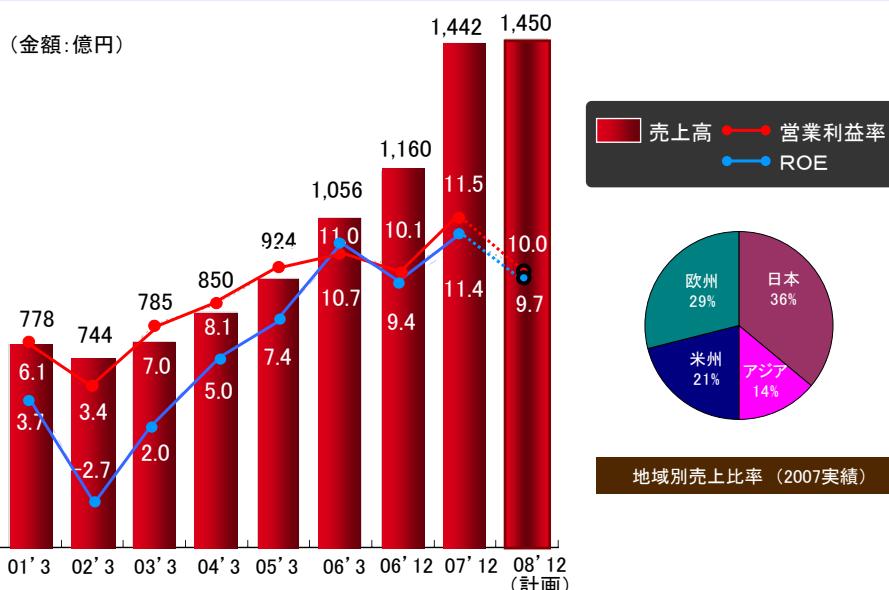
© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

全社

連結売上高・営業利益率・ROE推移

(金額: 億円)



Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2008年12月期 連結業績計画					
	2006年12月期	2007年12月期	2008年12月期計画		
	実績	実績	増減	通期	中間期
売上高	1,160	1,442	+281 (+24.3%)	1,450	670
営業利益	117	165	+48 (+41.2%)	145	61
営業利益率	10.1%	11.5%	+1.4P	10.0%	9.1%
経常利益	107	159	+51 (+48.1%)	140	58
当期純利益	65	86	+21 (+33.5%)	81	34
ROE	9.4%	11.4%	+2.0P	9.7%	-
為替レート	2008年度予想 US\$=105円 EUR=155円 2007年度実績 US\$=118円 EUR=161円 円高の影響 → 1円につきドル 7,800万円、ユーロ 3,800万円営業減益				

Explore the future
© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2008年12月期セグメント別業績予想				
	売上高	前期比	営業利益	前期比
自動車	530(240)	+ 3.0%	62(29)	▲ 8.3%
分析	420(200)	+ 4.9%	31(13)	+ 16.0%
医用	280(130)	+ 8.4%	17(6)	+ 38.0%
半導体	220(100)	▲ 18.3%	35(13)	▲ 40.4%
合計	1,450 (670)	+ 0.5%	145 (61)	▲ 6.8%

()内は、中間期計画

Explore the future
© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- ・決算サマリー
- ・業績通期計画
- ・セグメント別詳細説明
- ・経営上の取組事項
- ・中長期経営計画概要/進捗状況

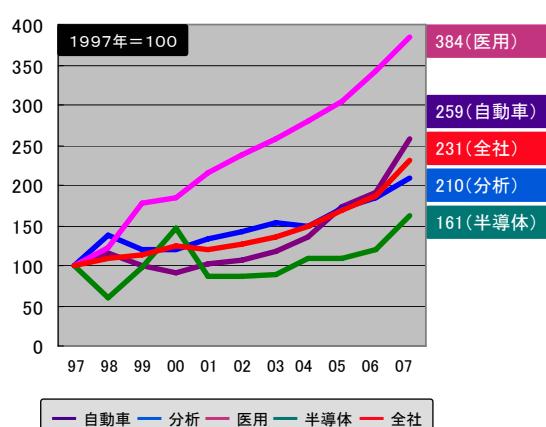
Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

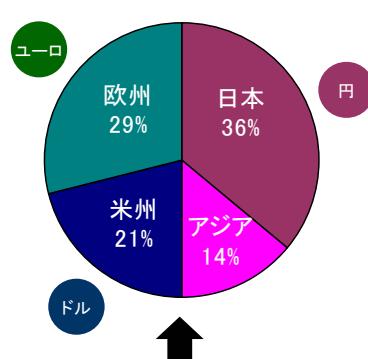
HORIBA

バランス経営～事業・エリア分散によるリスク回避～

セグメント別売上高(10年成長率)



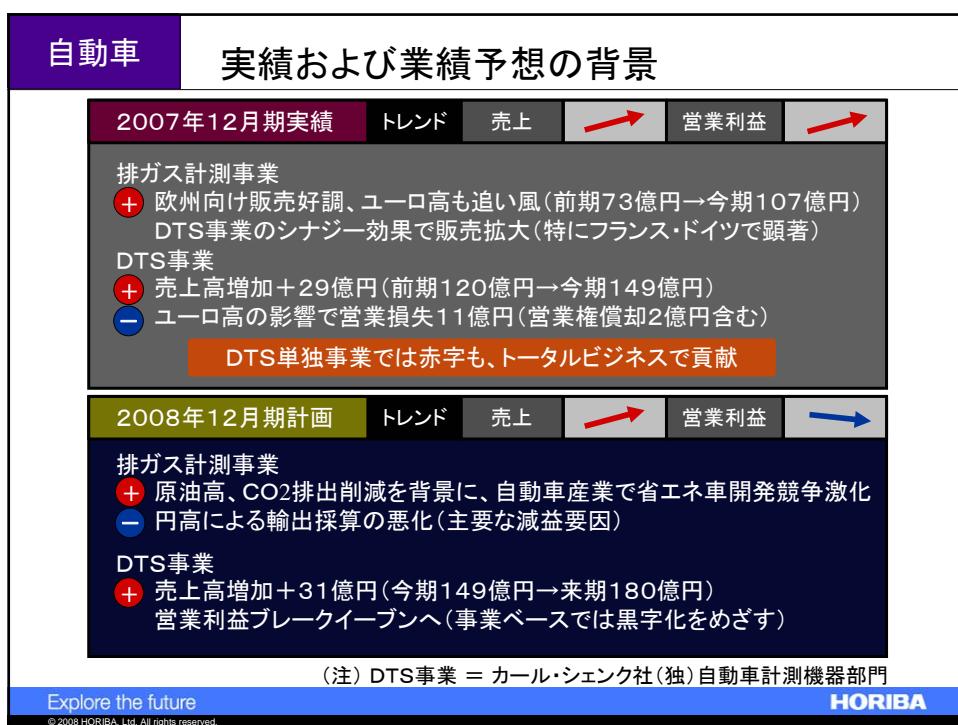
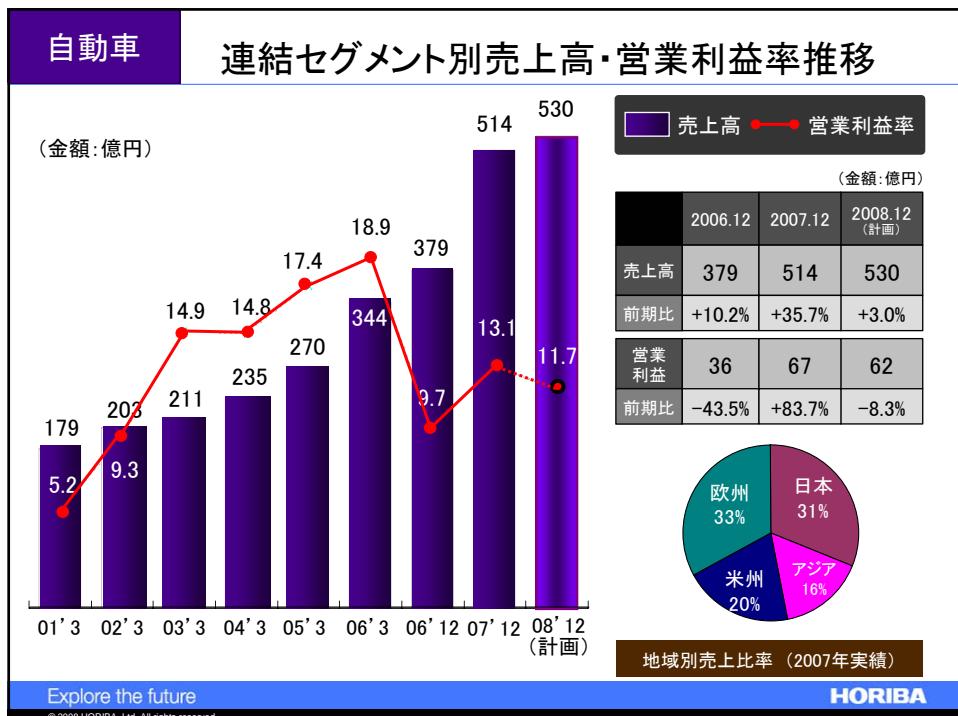
地域別売上高比率(2007年度実績)

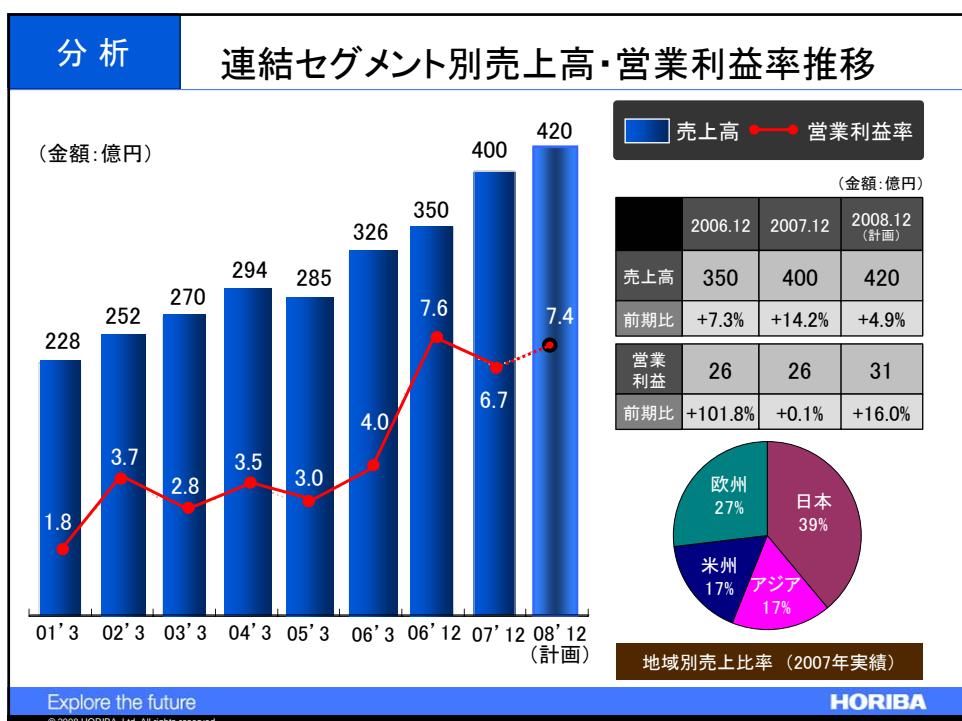
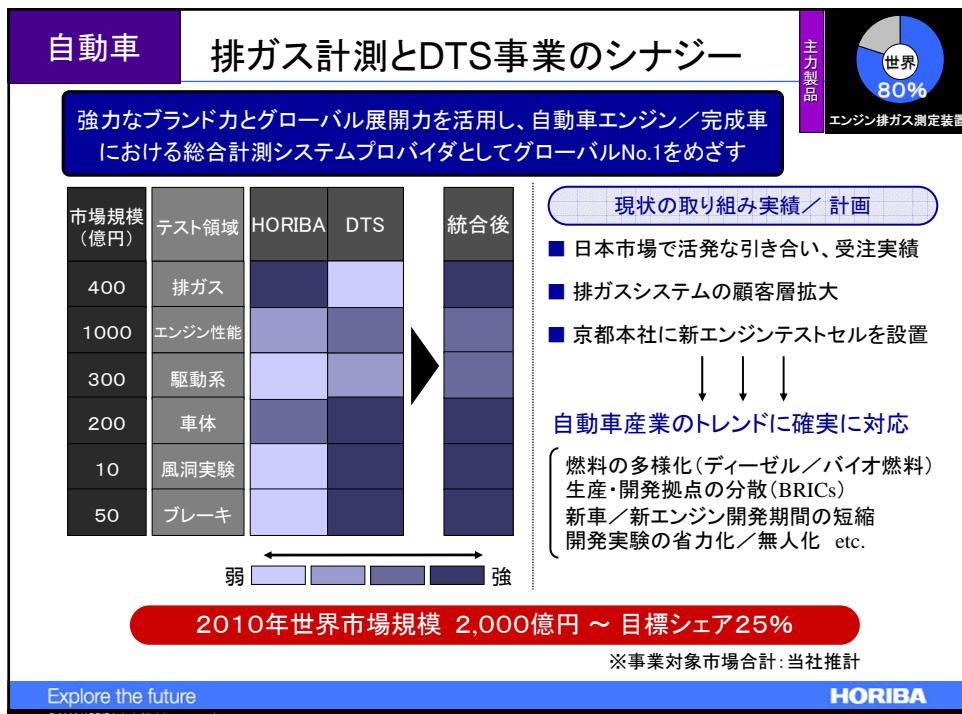


Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA





分析

実績および業績予想の背景

2007年12月期実績	トレンド	売上		営業利益	
<ul style="list-style-type: none"> + 環境用計測機器、売上増で収益性改善（売上 +46億円、営利 +9億円） ホリバ・ジョバイポン社（フランス）好調（売上 +20億円、営利 +2億円） - 米国向けオイル中硫黄分析装置、売上減少（▲20億円） RoHS指令対応用X線分析装置、売上減少（▲4億円） 					

2008年12月期計画	トレンド	売上		営業利益	
<ul style="list-style-type: none"> + 中国市場向けビジネス拡大（売上 25億円→35億円） 煙道排ガス測定装置の好調継続 - 中国RoHS指令関連需要不透明 ユーロ高傾向は、ホリバ・ジョバンイポン社（仏）の採算悪化要因 					

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

分析

事業戦略

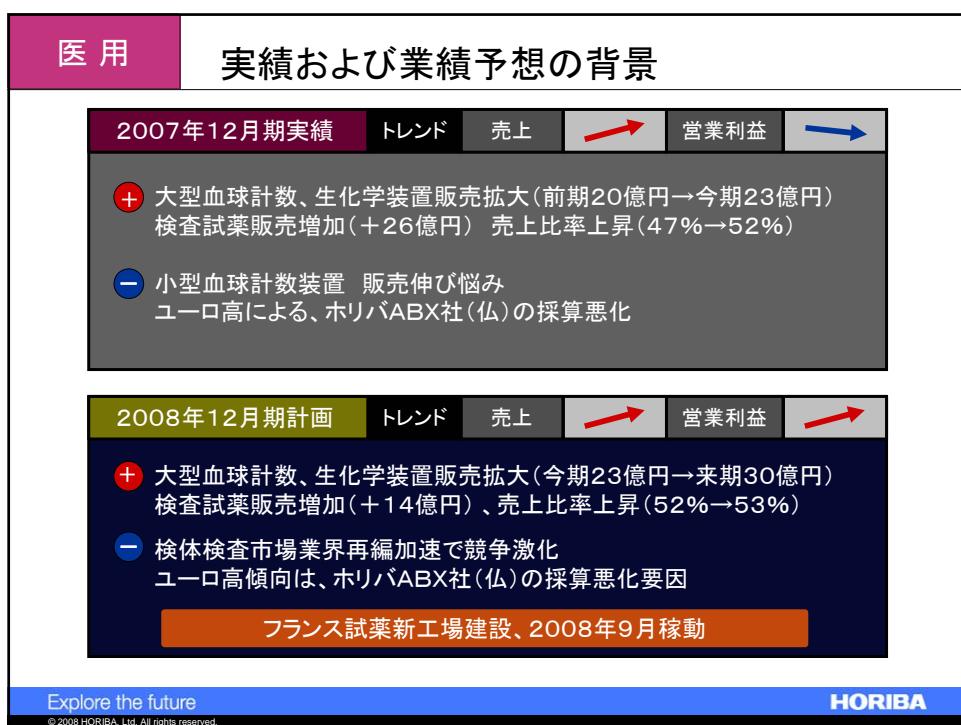
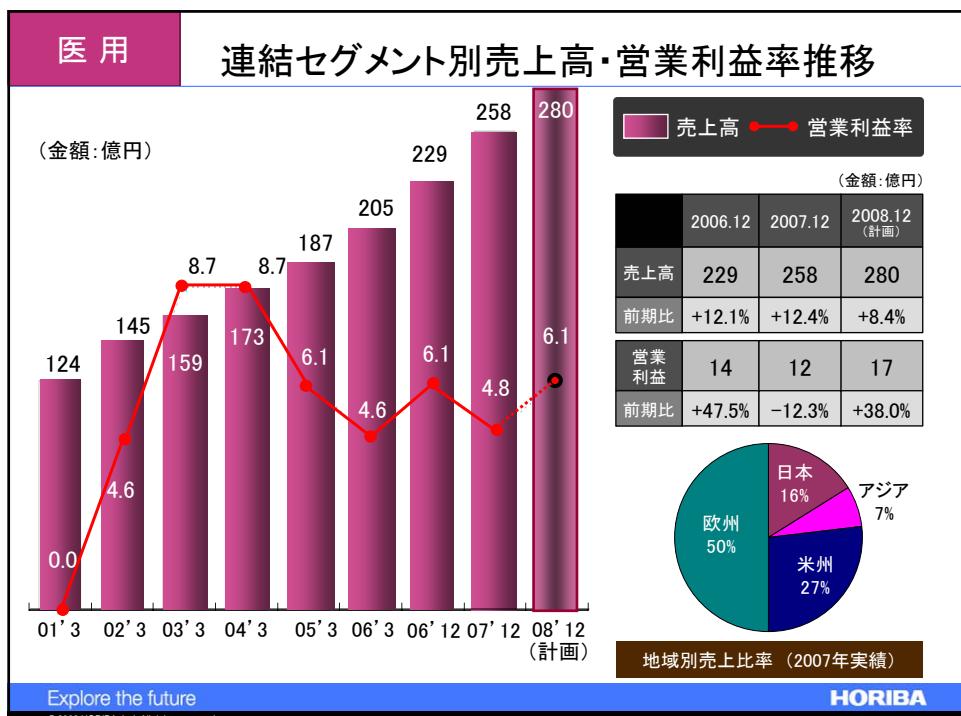
科学分野		 主力製品 ラマン分光測定装置 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>06.12 実績</th> <th>06.12 実績</th> <th>07.12 計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>253</td> <td>257</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>20</td> <td>11</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <small>(単位：億円)</small>		06.12 実績	06.12 実績	07.12 計画	売上高	253	257	270	営業利益	20	11	16
	06.12 実績		06.12 実績	07.12 計画										
売上高	253		257	270										
営業利益	20		11	16										
<ul style="list-style-type: none"> ■ ハイエンド市場向け強化（ラマン、粒子径分布、X線分析など） ナノテク・バイオ市場への積極的な取り組み (カーボンナノチューブ、有機EL、化合物半導体など) 														
<ul style="list-style-type: none"> 米国市場をターゲットとする製品投入を強化 石油産業、薬品業界等へのアプローチを強化 操作性などを重視した米国仕様製品の開発を推進 														

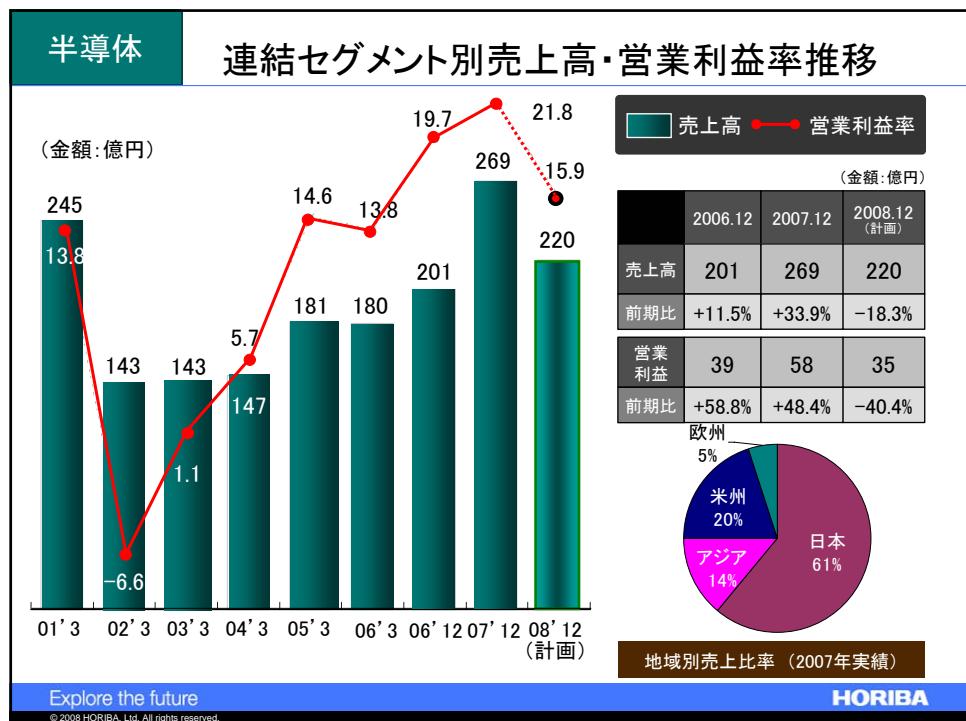
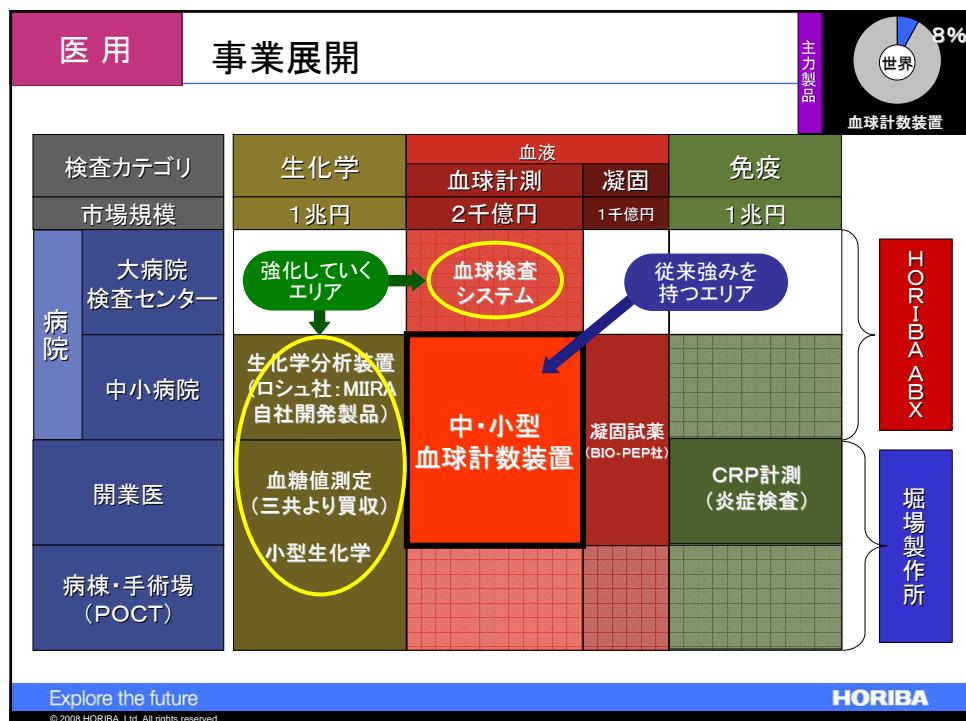
環境分野（世界市場2000億円）		 主力製品 煙道排ガス分析装置 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>06.12 実績</th> <th>06.12 実績</th> <th>07.12 計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>97</td> <td>143</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <small>(単位：億円)</small>		06.12 実績	06.12 実績	07.12 計画	売上高	97	143	150	営業利益	6	15	15
	06.12 実績		06.12 実績	07.12 計画										
売上高	97		143	150										
営業利益	6		15	15										
<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点戦略① 先進国市場におけるビジネス対象の拡大 環境規制ビジネス (工場排水等規制対応) ➡ 非規制ビジネス (産業プロセス制御等) 														
<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点戦略② 中国を中心とした新興市場需要の確実な取込 日本で蓄積された環境計測ノウハウをフル活用し ローカルの規制に適合した製品群を市場投入 														

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA





半導体 実績および業績予想の背景

2007年12月期実績	トレンド	売上	↑	営業利益	↑
半導体製造装置用マスフローコントローラ + 年度前半 半導体市場活況で国内・北米向け販売増加 市場シェアアップ(前期33%→今期36%) 半導体・液晶プロセス用検査装置 + 年度前半 洗浄機用薬液モニタ販売拡大(世界シェア80%) 年度後半 半導体市場の需要減速					
2008年12月期計画	トレンド	売上	↖?	営業利益	↗
半導体製造装置用マスフローコントローラ + 市場シェア40%をめざす - 年度前半は需要減少、価格下落懸念、後半の回復を期待 半導体・液晶プロセス用検査装置 + 液晶薄膜検査装置は好調 - 洗浄機用薬液モニタ需要減少 半導体前工程設備投資 前年比▲20%で想定					

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

半導体 マスフローコントローラ(MFC)の動向

年	シェア (%)
2003	26%
2004	29%
2005	28%
2006	33%
2007	36%

■ 製品ラインアップ充実で、シェア拡大傾向 (現状シェア36%)
 高品質・高性能を武器に、歩留り向上・プロセス微細化に対応
 ▶ 2008年、世界シェア40%目標

■ 太陽電池市場の拡大に期待
 半導体と製造プロセスが類似しており、
 マスフローコントローラの新たな市場として有望(現状2~3億円規模)

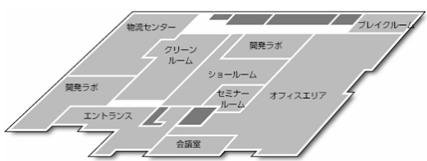
Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

半導体

HORIBAテクノロジーセンター開設



米国シリコンバレーの中心地に開設

AMAT、INTELなど半導体有力企業の
近くで開発・マーケティング活動を展開

日米の研究開発者10名を配置

米国発の新製品開発をめざす

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 決算サマリー
- 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組み事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

「One Company 経営」の推進

HORIBA GROUP is One Company

HORIBAグループは、統一されたブランドの下、
ビジョン・戦略を共有し、One Companyとして、
グループの企業価値・利益最大化を追求する

<これまでの施策>

- 社名変更・ブランドの統一
- マトリックス経営の導入

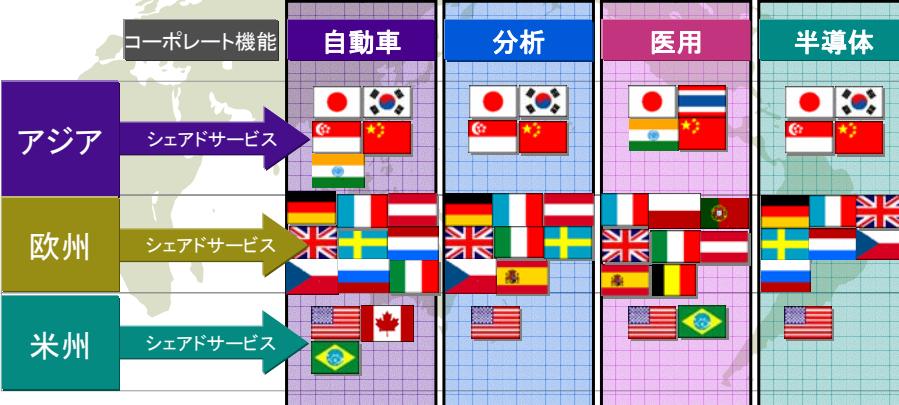
Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

「One Company」マトリックス経営の導入

エグゼクティブコミッティ
(最高意志決定機関)



新基幹情報システム稼動

■ 真のグローバル経営に不可欠な情報システム構築

稼動状況と今後のスケジュール

2008年1月現在 → 国内一主要4社で稼動、海外—ドイツ、英国、中国で一部稼動
[今後の導入スケジュール] 2009年以降 海外グループ会社に順次導入予定

導入効果 ~ 情報のグローバルレベルでの共有、スピード化

- 迅速な情報提供による経営判断のスピードアップ
- 生産効率アップ 納期短縮 在庫削減 コストダウン
- 営業活動の効率化、受注確度の向上
- 買収企業のスピーディなシステム統合

設備投資と減価償却スケジュール

- 設備投資(有形・無形) 総投資額100億円(2007年までに、70億円実施済)
- 減価償却費 07年 1億円、08年 5億円、09~17年 10億円/年
- その他導入費用 07年 5億円、08年 3億円、09~10年 5億円/年

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

欧米、アジアの会社組織を再編

■ 欧米亞3極における地域単位での効率経営をめざして

欧洲

2008年1月1日 旧カール・シェンク事業会社をホリバ欧洲に合併

米国

2008年1月1日 旧カール・シェンク事業会社をホリバ米国に合併
ホリバ・ジョバンイボン社の米国子会社を米国持株会社の傘下に

2008年4月1日 ホリバABX社の米国子会社を米国持株会社の傘下に

韓国

2008年3月31日 販売子会社を生産子会社に合併

インド

2006年9月7日 販売子会社を設立、2008年より本格営業開始

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

資本政策～ROE／資本コストを意識した経営の推進～

■ 継続的な利益成長とバランスの取れた資本構成で、ROE11%以上をめざす

自己株式取得を実施（2008年2月20日～3月19日）

金額 8億円(上限) 取得株式数 270,000株(上限)

国内普通社債100億円を発行（2007年7月6日払込）

● 資金使途 2008年8月期限の社債50億円償還、設備投資など

● 期間 7年(2014年7月償還)

● 利率 1.98%

配当政策

● 配当金 = 個別純利益 × 30%

● 残りは戦略的投資資金として
内部留保(設備投資・M&A等)

● 中期的には資本と投資のバランスを
考慮し、最適な配当政策を選択



Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 決算サマリー
- 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組み事項
- 中長期経営計画概要/進捗状況

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

中長期経営計画の骨子(2006~2010年度)

「One Company経営を実現し、
眞のグローバルカンパニーをめざす」

- 売上高2,000億円企業に向けた土台作り
- バランスの取れた事業の成長
- 「見えない資産」の価値向上

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

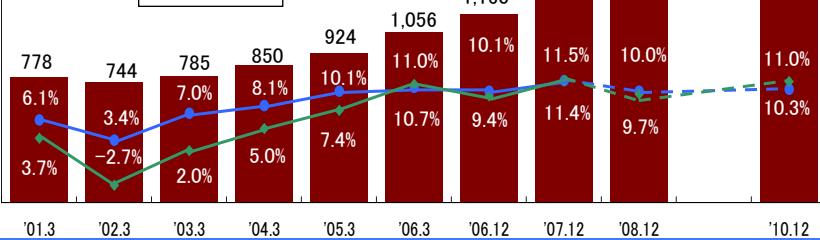
連結売上高・営業利益率・ROE推移

2010年度 目標数値	売上高	1,500億円 (1,442億円)
	営業利益率	10%以上 (11.5%)
	ROE(株主資本利益率)	11%以上 (11.4%)

()は2007年12月期実績

	2007年度実績	2008年度計画	2010年度計画	進捗率
売上高	1,442	1,450	1,500	96.7%
営業利益	165	145	155	93.5%

(金額:億円)
■ 売上高
● 営業利益率
● ROE



Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

セグメント別業績目標／2008年計画進捗率（金額:億円）

	売上高	進捗率	営業利益	進捗率
自動車	500(530)	106.0%	65 (62)	95.4%
分析	400(420)	105.0%	22 (31)	140.9%
医用	330(280)	84.8%	33 (17)	51.5%
半導体	270(220)	81.5%	35 (35)	100.0%
合計	1,500 (1,450)	96.7%	155(145)	93.5%

()内は、2008年12月期計画

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

新・中長期経営計画の策定について

2010年をゴールとする現・中長期経営計画の順調な進捗を踏まえて、新・中長期経営計画策定を予定

新・中長期経営計画概要

「One Company マトリックス経営の推進により、戦略的かつ効率的なグローバル経営を実現する」

新しい業績目標設定

事業戦略アップデート

見えない資産の育成

期間

2009年～2013年の5ヵ年計画

発表予定

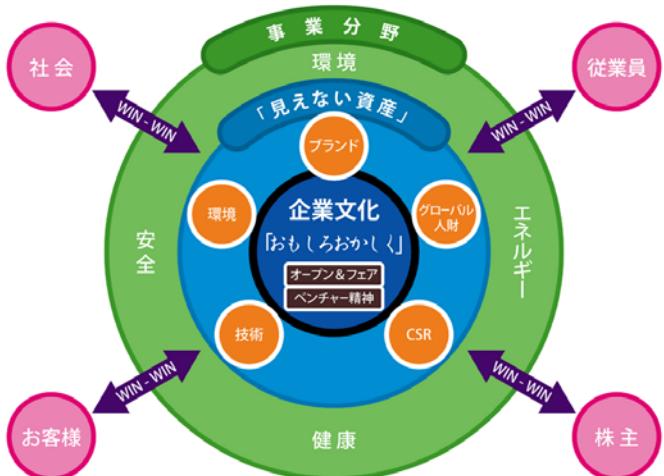
2009年1月初旬

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

企业文化を中心に据えた経営の推進



すべてのステークホルダーと“WIN-WIN”的関係を構築することで、持続的な成長と企業価値の創造をめざす

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

ご清聴ありがとうございました。



MLMAP
Mid-Long Term Management Plan

2006-2010

Explore the future

© 2008 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA